

H27 小松島小学校 通学路対策箇所図

【対策検討メンバー】

- ・教育委員会、学校、PTA(学)
- ・道路管理者(道)
- ・警察署(警)

41

・片側1車線のバス通りで、車の交通量も多く、自転車での通勤・通学も多い。道幅も狭い。特に七十七銀行小松島支店前は道がカーブしていて危険である。

＜対策メニュー＞

- ・木の枝が伸びてきたら切るよう働きかけ(学)
- ・植栽が道路区域にはみ出した場合は、道路管理者がマンションの所有者(管理者)に敷地内での生育管理を指導(道)

44

・朝、渋滞を避けて、路地を通る車で交通量が多い。歩行者や自転車の交通量も非常に多い。

＜対策メニュー＞

- ・交差点の渡り方について指導(学)
- ・交差点から小学校までの区間において、消えかかっている区画線を引き直す(道)
- ・違反車両対策として、管轄交番に警戒取締りの要望を伝え、交通課による取締りを検討(警)

43

・道が狭く路上駐車が多い。また、一方通行のため、スピードを出す車が多く危険。

＜対策メニュー＞

- ・通学路に係る警戒標識及び補助標識を設置し、その後、路側帯のカラー化を実施(道)

42

・カーブが多く、道幅が狭い。見通しが悪いいため、車がカーブでふくらむことがある。市営バスも行き来する。

＜対策メニュー＞

- ・43の対策があるので、児童への交通指導を継続(学)

— : 通学路

● : 要対策箇所

